

[事故ゼロプラン参考資料]



事故ゼロプラン参考資料

1. 令和5年度の取り組み概要(参考資料無し)
2. 事故ゼロプランによる事故削減効果(参考資料無し)
3. 事故ゼロプランの推移..... 1
4. 対策済み区間に対する効果評価..... 3
5. 事故ゼロプランの新規追加区間..... 18
6. 事故危険区間の対策効果事例(参考資料無し)
7. 新規追加区間の選定手法と効果評価手法の課題について(参考資料無し)
8. 道路利用者意見収集のスケジュール(参考資料無し)
9. 令和6年度の事故ゼロプランの活動予定(参考資料無し)

①事故ゼロプランの概要

- 静岡県事故ゼロプランは平成22年度より取り組みを開始（事故危険区間として229区間を選定）。
- PDCAサイクルを念頭に順次対策を進めつつ、事故危険区間の追加・見直しを行っている。

3. 事故危険区間の選定

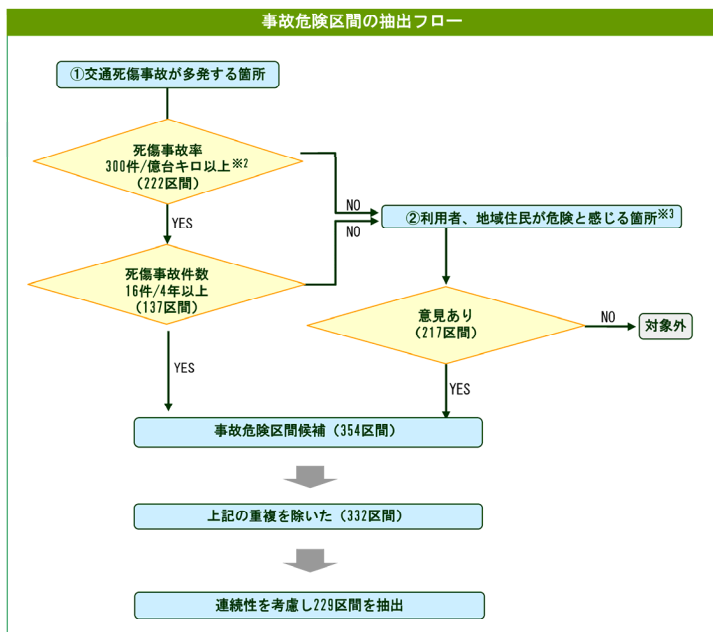
静岡県事故ゼロプランでは、静岡県内の国土交通省が管理する国道を対象として、交通死傷事故が多発する箇所や静岡県の交通特性を考慮して利用者、地域住民が危険と感じる箇所を事故危険区間として、静岡県道路交通環境安全推進連絡会議^{※1}を経て229区間を選定しました。

■静岡県事故ゼロプラン 事故危険区間の選定方針

- ①交通死傷事故が多発する箇所 : 死傷事故率300件/億台キロ以上+16件/4年以上
- ②利用者、地域住民が危険と感じる箇所 : ヒヤリハット箇所、地元意見箇所など

※1 静岡県道路交通環境安全推進連絡会議

静岡県内の交通事故の防止を図るため、警察と道路管理者とが連携を図り、安全な道路交通環境の整備や利用者への広報を行うとともに、利用者の意見を交通安全施策に反映することを目的としています

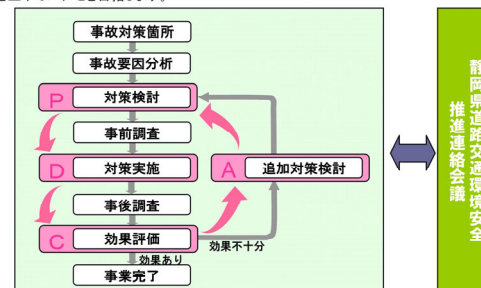


- ※2 死傷事故率は
1km区間を1億台の自動車が行ったとき、その区間内で死傷事故が発生する割合のことです。死傷事故の起こりやすさの目安となるものです。
- ※3 利用者、地域住民が危険と感じる箇所の選定方法
・地元の見解 : 沿線自治体の意見
・ヒヤリハット箇所 : 利用者WEBアンケート
・職業ドライバー「ヒヤリハット」調査
・その他 : 歩道、自転車道整備必要区間など

5. 事故対策の取り組み方針

■ 対策の進め方

個別の選定区間に対する事故対策の取り組みは、事故データや地域住民の声、現地調査などにより事故要因を明らかにしたうえで、対策検討(P)→対策実施(D)→効果評価(C)→追加対策検討(A)の流れに沿って進めます。単に選定区間の対策を実施するだけでなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで効果的に成果を上げていくことを目指します。



■ PDCAサイクル実施事例

PLAN (問題の把握と対策立案)

・課題箇所の交通事故特性、事故発生要因の把握
・有効な交通事故対策の立案

対策検討

課題箇所の現地状況把握
現地調査

協議の見直し

PLAN 計画

Do (対策の実施)

・課題箇所への対策実施

●交通事故対策の実施

- ①交差点カラー舗装
- ②信号機視認性向上
- ③カラー舗装に合わせた案内標識
- ④交差点コンパクト化

Do 実行

ACTION (反映および改善の検討)

・類似箇所への対策実施の水平展開
・対策実施によって生じた新たな課題への対応

●対策効果の評価 (事故発生件数やアンケートなど)

カラー舗装 (ベンガラウ色)、右折 (水色) 対策

●追加調査

ビデオ調査状況

右折車両動静調査

ACTION 新たな行動

CHECK (効果の検証)

・対策前後の交通挙動の比較による対策効果の検証
・交通事故データをを用いた対策効果の検証

●事故発生件数からの検証

●交通挙動からの検証

CHECK 評価

②事故ゼロプランにおける実施サイクル

- 交通事故を効率的かつ効果的に減少させるためには、実施した対策について効果評価を行い、評価結果を計画に反映させることで改善を図っていくことが重要である。
- 「対策済み区間に対する効果評価」を行うとともに、その結果をもとに、必要な区間について「追加対策検討」を行なった。
- また、新規追加区間の抽出の考え方をうい「事故ゼロプランの新規追加区間」を選定した。

事故ゼロプラン全体 目的:管内の事故危険区間を対象に緊急対策を施して効率的に事故を削減

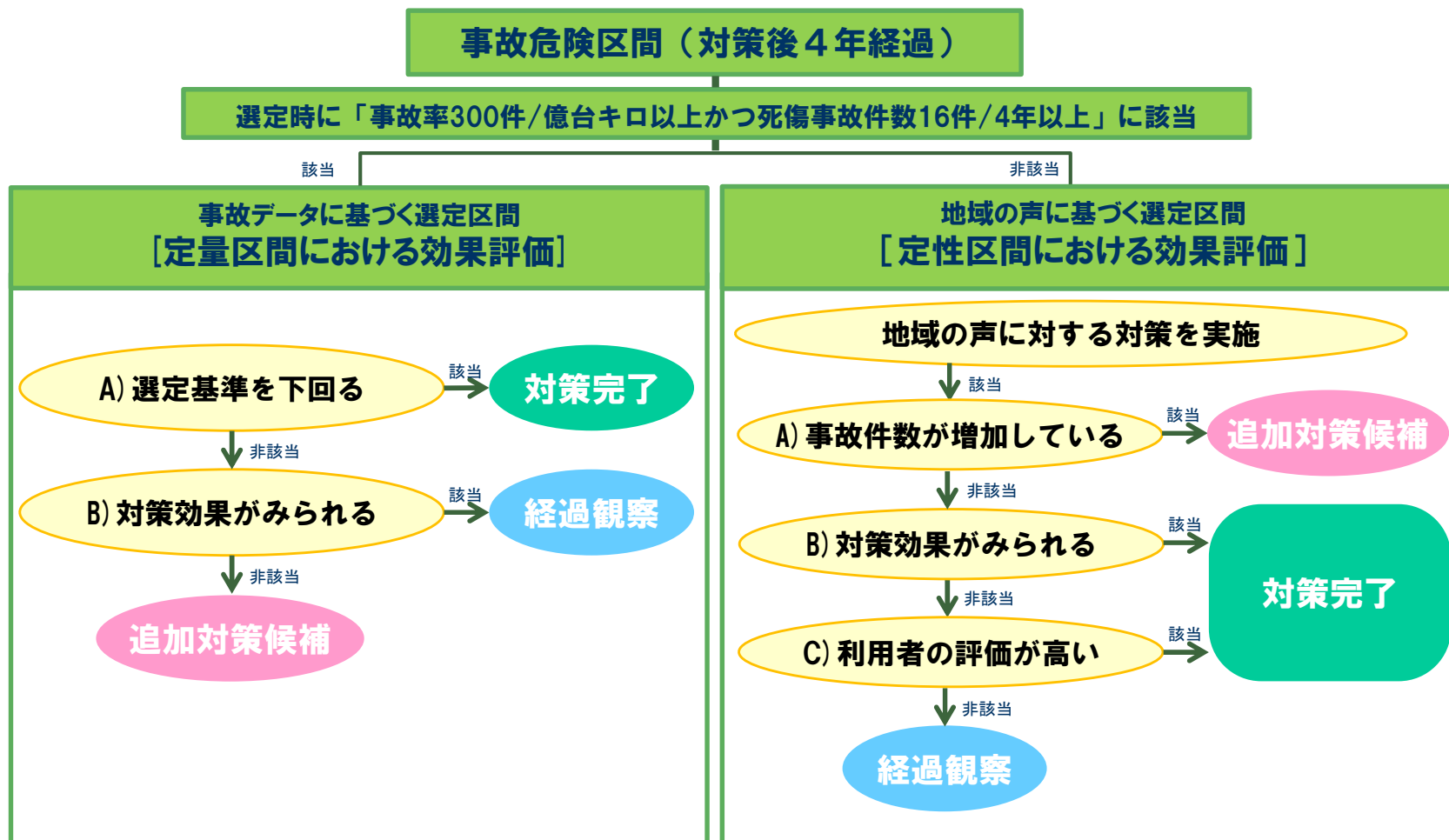


対策済み区間に対する効果評価・追加対策検討の実施

①対策済み区間に対する効果評価の考え方

- 平成28年度に決定した効果評価手法に基づき、対策済み区間に対する効果評価を実施した。
(対策済み区間のうち、個別評価が可能となる対策後4年以上の事故データが存在する区間が対象)
- 効果評価により抽出された「追加対策候補区間」に対して、追加対策の要否判断を実施した。

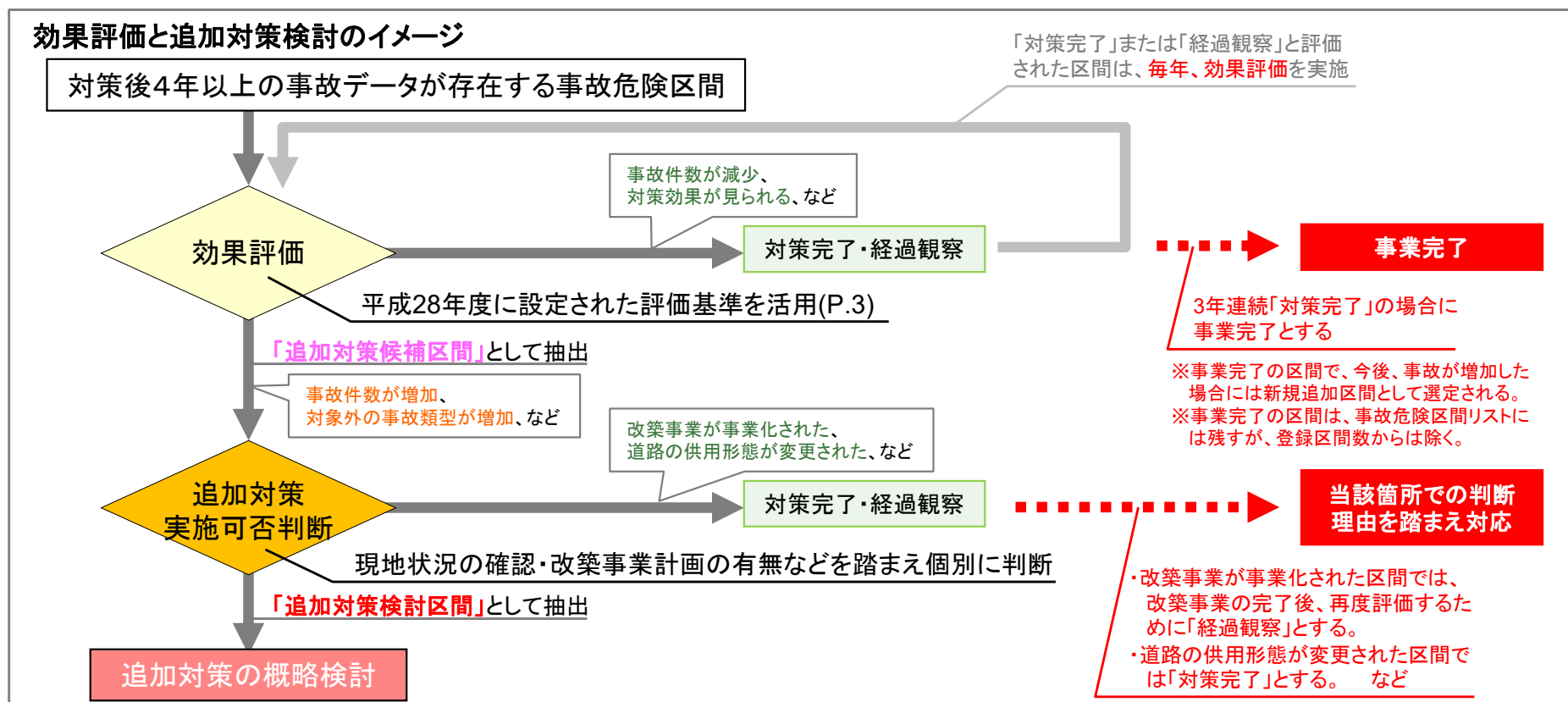
【平成28年度に決定した効果評価手法】



※事故危険区間選定時に「事故データ」「地域の声」の両基準により選定された区間については、「事故データに基づく選定区間」の評価基準を適用した。

② 「効果評価結果」による事故危険区間の取り扱い

- 対策後4年以上の事故データが存在する区間に対して、効果評価を実施し「追加対策候補区間」を抽出した。また、抽出された「追加対策候補区間」について”現地状況”や”改築事業計画の有無”を確認し、区間毎に追加対策の実施可否判断を行い「追加対策の概略検討」を行った。
- 効果評価の結果、「対策完了」または「経過観察」と評価された区間は、毎年、効果評価を実施する。また、3年連続「対策完了」と評価された場合は、事業完了とする。
- 「追加対策の実施可否判断」においては「改築事業が事業化された区間」や「供用形態が変化した区間」などの当該区間での状況を踏まえて、「経過観察」または「対策完了」と評価する。



③効果評価の結果 -事故データに基づく選定区間- (18区間)

- 事故データに基づく選定区間では、R3～R5の効果評価が3年連続「対策完了」となる区間は9区間あり、「事業完了」により事故ゼロプランから除外する。
- 残る9区間のうち6区間は「対策完了（1年目または2年目）」、3区間は「経過観察」となり、次年度も効果評価を行う。

箇所概要					効果評価				
選定理由	事務所	新区間番号	区間名	対策実施年	R2 効果評価	R3 効果評価	R4 効果評価	R4 効果評価結果	R5 効果評価結果
事故	静岡	22-K06145-000	清水区七ツ新屋414(七ツ新屋交差点)	H25	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K06285-000	富士宮市舞々木町113(登山道入口交差点)	H26	経過観察	経過観察	経過観察	経過観察	経過観察
事故	静岡	22-K03121-000	駿河区手越66(手越原交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K06086-000	清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)	H28			追加対策候補	対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K06084-000	駿河区国吉田1-2-26(国吉田交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K03119-000	駿河区手越7(佐渡交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K03162-000	駿河区丸子3-13-1～3-12-1(北丸子1丁目交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-T11322-000	駿河区北丸子1-31-27～2-1-38	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-T60763-000	富士市伝法2448～国久保3-8-16	H29				対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K60484-100 22-K60485-200	富士市伝法2511((仮)富士IC西交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-T68322-200 22-T68560-200 22-T68559-200 22-T67757-100 22-T68323-100	島田市島880-1(大代IC)	H27		対策完了	対策完了	経過観察	経過観察
事故	静岡	22-K05680-000	南区飯田町507(飯田町南交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K05576-000	南区卸本町103-1(卸本町交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K05688-000	静岡県浜松市南区飯田町271-1(交差点名なし)	H29				対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K06319-000	御殿場市神山1571(兎島交差点)	H20	対策完了	経過観察	経過観察	経過観察	経過観察
事故	沼津	22-K06321-000	裾野市千福73(千福南交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	沼津	22-K06331-000	御殿場市神場東1375(神場東交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	沼津	22-K06276-000	駿東郡長泉町下長窪1075-9(城山交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了



対策済み区間に対する効果評価

③効果評価の結果 -地域の声に基づく選定区間- (29区間)

- 地域の声に基づく選定区間では、R3～R5の効果評価が3年連続「対策完了」となる区間は9区間あり、「事業完了」により事故ゼロプランから除外する。
- 「追加対策候補」となる区間は3区間あり、追加対策の実施要否判断により1区間を追加対策検討区間、2区間を経過観察区間と評価した。

箇所概要					効果評価				
選定理由	事務所	新区間番号	区間名	対策実施年	R2 効果評価	R3 効果評価	R4 効果評価	R5 効果評価	R5 効果評価結果
意見	静岡	22-K06151-000	清水区洪川500-1(洪川東交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-T00818-200	駿河区丸子3088～3170	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-T00193-100 22-T00193-200	駿河区丸子6850～6290-17	H27		経過観察	経過観察	対策完了	対策完了(1年目)
意見	静岡	22-T67654-100 22-T68578-200	藤枝市岡部町岡部1920～1960	H27		経過観察	経過観察	追加対策候補	追加対策検討区間
意見	静岡	22-K05430-000	清水区長崎新田433～鳥坂245(長崎IC交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T04257-000	清水区小島町450～728	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T61228-000	富士市国久保2丁目15～富士市国久保2丁目10	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-K06220-000	富士市田中新田無番地(松町北交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K07179-200 22-K07179-100	清水区蒲原5055-13(蒲原東IC交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K06199-000	清水区八坂北1丁目23(下野東交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K06287-000	富士宮市万野原新田3540(万野原新田)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K06290-000	富士宮市富士見ヶ丘415番地(舞々木町交差点)	H29				対策完了	対策完了(1年目)
意見	静岡	22-K03750-000	清水区横砂中町16番地(横砂交差点)	H29				対策完了	対策完了(1年目)
意見	浜松	22-K05959-000	掛川市領家499-1～989 ((仮)掛川毎日ポウル前交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	浜松	22-K07193-200 22-K07193-100	西区篠原町22208(篠原IC)	H26	対策完了	経過観察	経過観察	追加対策候補	経過観察
意見	浜松	22-T67815-000 22-T67813-000	掛川市千羽1325～441	H24	経過観察	経過観察	経過観察	追加対策候補	経過観察
意見	浜松	22-T63696-000	袋井市国本2550～2756	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	浜松	22-T67838-100 22-T68552-100	袋井市菱町3-5-3～袋井市久能1285	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	浜松	22-K05643-000	浜松市西区篠原町22730(篠原東交差点)	H29				対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-T65995-100	三島市塚原新田219-22～谷田1712	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-K06329-000	御殿場市神場1216(矢場居交差点)	H29				経過観察	経過観察
意見	沼津	22-K05108-000	田方郡函南町桑原1364-50(箱根峠交差点)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-T70801-100	三島市塚の台1665-131	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-K04379-000	三島市南田町5(奈良橋交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	沼津	22-T68793-000	沼津市大岡28874-1(国道1号合流上石田ICランプ)	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-K06361-000	御殿場市塚原837(塚原交差点)	H28			経過観察	対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-T00117-100	裾野市桃園(桃園トンネル南側橋梁部)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	沼津	22-T12368-000	三島市谷田260-3～東本町2-33	H28			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-K06341-000	御殿場市新橋648-4(鮎沢交差点)	H27		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了

④追加対策の要否判断

追加対策候補区間の一覧（静岡県ALL）

担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
静岡国道事務所	藤枝市	国道1号	単路	藤枝市岡部町岡部1920～1960	H22	H27	R5		●	追加対策検討区間
浜松河川国道事務所	掛川市	国道1号	単路	掛川市千羽1325～441 (※下り線合流区間が対象)	H22	H24	R5		●	経過観察
浜松河川国道事務所	浜松市	国道1号	交差点	西区篠原町22208(篠原IC)	H22	H26	R5		●	経過観察

4

対策済み区間に対する効果評価

参考資料

④追加対策の要否判断 追加対策候補区間の一覧（静岡国道管内）

担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
静岡国道事務所	藤枝市	国道1号	単路	藤枝市岡部町岡部1920～1960	H22	H27	R5		●	追加対策検討区間

C 追加対策候補区間（藤枝市岡部町岡部1920～1960）

国道1号 藤枝市岡部町岡部1920～1960 (H27対策)

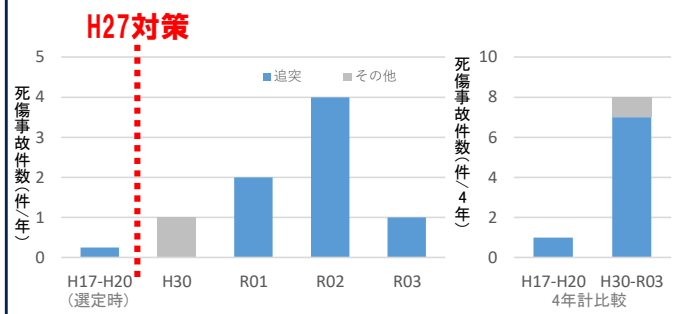
選定理由：地域の声に基づく選定

事故増減
 ①死傷事故件数
 選定時：1件/4年 (H17-H20)
 評価時：8件/4年 (H30-R3) 増加 ×

①全体判定（事故件数3割抑止）：
 1件/4年→8件/4年（700%増加） ×

②着目事故判定（事故件数3割抑止）：
 （追突）1件/4年→7件/4年（増加） ×

効果判定
 ③潜在的危険度（ETC2.0判定）：
 前後加速度, 左右加速度, ヨー角速度
 3指標とも基準値未満 ○



○：効果評価基準達成
 ×：効果評価基準未達成

事前事故発生状況

事故発生状況

当事者	記号	事故類型	記号
自動車	←	正面衝突	→
二輪・原付	←	追突	→
自転車	←	出会い頭	→
歩行者	●	左折	→
負傷事故	◎	右折	→
		車両接触	→

横添ICオフランプ部周辺における駐車車両による危険性の危険

対策前断面構成(標準断面)

対策前写真

対策実施状況

対策実施状況

○右折車線のカラー化
 ○交差点流入部のカラー化
 ○減速路面標示『追突注意』
 ○注意喚起標識『路肩駐車禁止』
 ○車線分離
 ○注意喚起標識『この先合流注意』

対策後断面構成(標準断面)

対策後写真

C 追加対策候補区間（藤枝市岡部町岡部1920～1960）

- ・対策実施後は一時的に事故件数が減少したが、近年は上り線の側道合流部手前で追突事故が増加傾向。
- ・既存の注意喚起対策の強化などによる追加対策を検討する。

隣接する「廻沢口交差点」および、より起点側の「藤枝市岡部町岡部2190」は追加対策区間に選定済み。

対策前	対策後
■ H23事故	■ H30事故
■ H24事故	■ H31(R1)事故
■ H25事故	■ R2事故
■ H26事故	■ R3事故

○ 対策前 (H23-H26)
○ 最新 (H30-R3)

至 静岡市 | 至 島田市

事故位置の凡例:

- 人対車両
- 車両単独
- その他相互
- 出会い頭
- 左折
- 右折
- 追突
- 正面衝突

上り線での追突事故が増加傾向

改築によりバイパスの速度向上など交通特性の変化が想定、**自専道区間の終端である当該区間や廻沢口交差点**での「事故位置の変化」、「追突事故の増加」が想定される。

【追加対策】

- ・注意喚起対策の強化等を検討。また近隣の追加対策区間を合わせた一体的な対策も視野に入れて検討する。

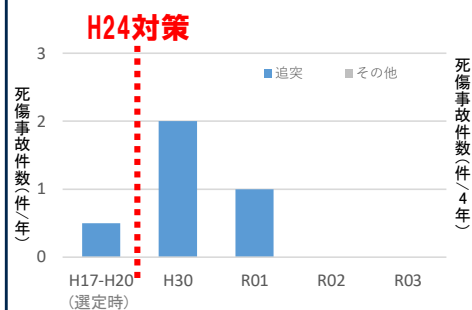
④追加対策の要否判断

追加対策候補区間の一覧（浜松河川国道管内）

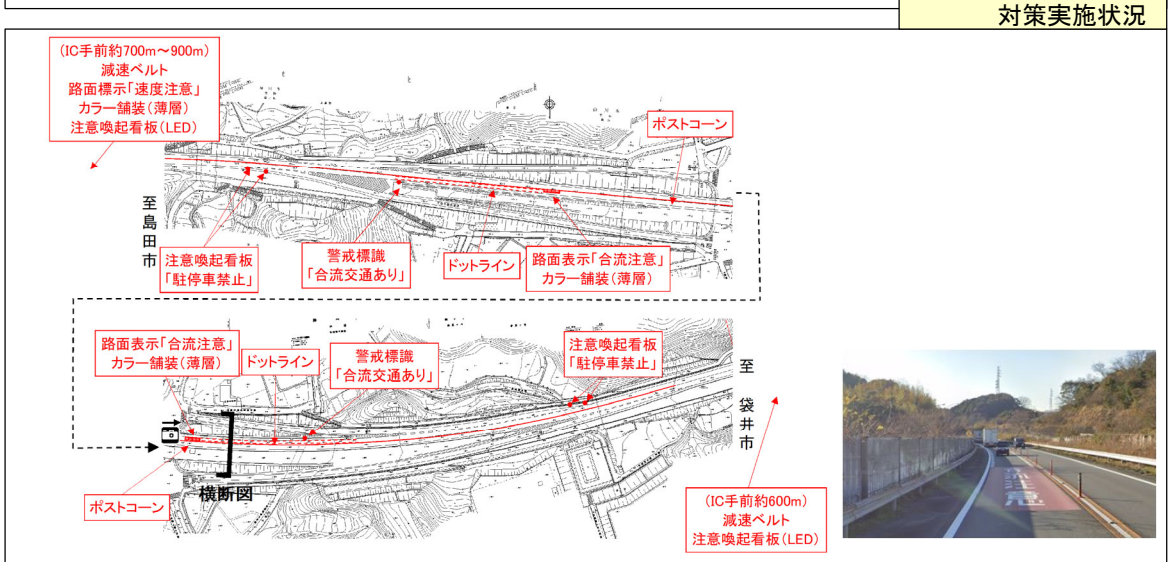
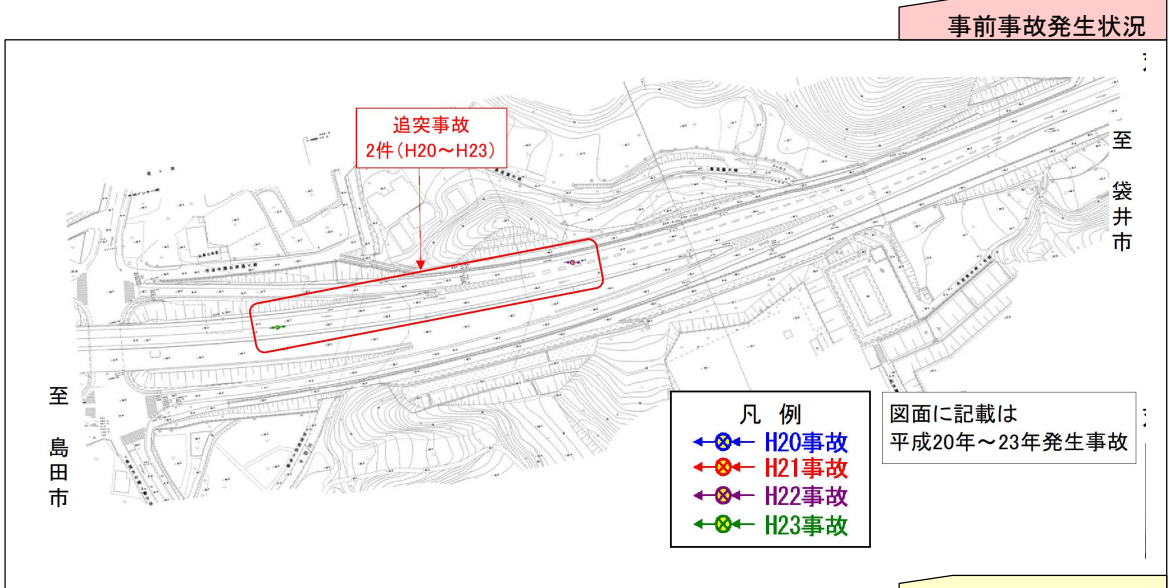
担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
浜松河川国道事務所	掛川市	国道1号	単路	掛川市千羽1325～441 (※下り線合流区間が対象)	H22	H24	R5		●	経過観察
浜松河川国道事務所	浜松市	国道1号	交差点	西区篠原町22208(篠原IC)	H22	H26	R5		●	経過観察

C 追加対策候補区間（掛川市千羽1325～441）

国道1号 掛川市千羽1325～441 (H24対策)	
選定理由：地域の声に基づく選定	
事故増減	①死傷事故件数 選定時：2件/4年 (H17-H20) 評価時：3件/4年 (H30-R3) 増加 ×
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 2件/4年→3件/4年（50%増加） ×
効果判定	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）2件/4年→3件/4年（50%増加） ×
	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 前後加速度, 左右加速度, ヨー角速度 3指標とも基準値未満 ○

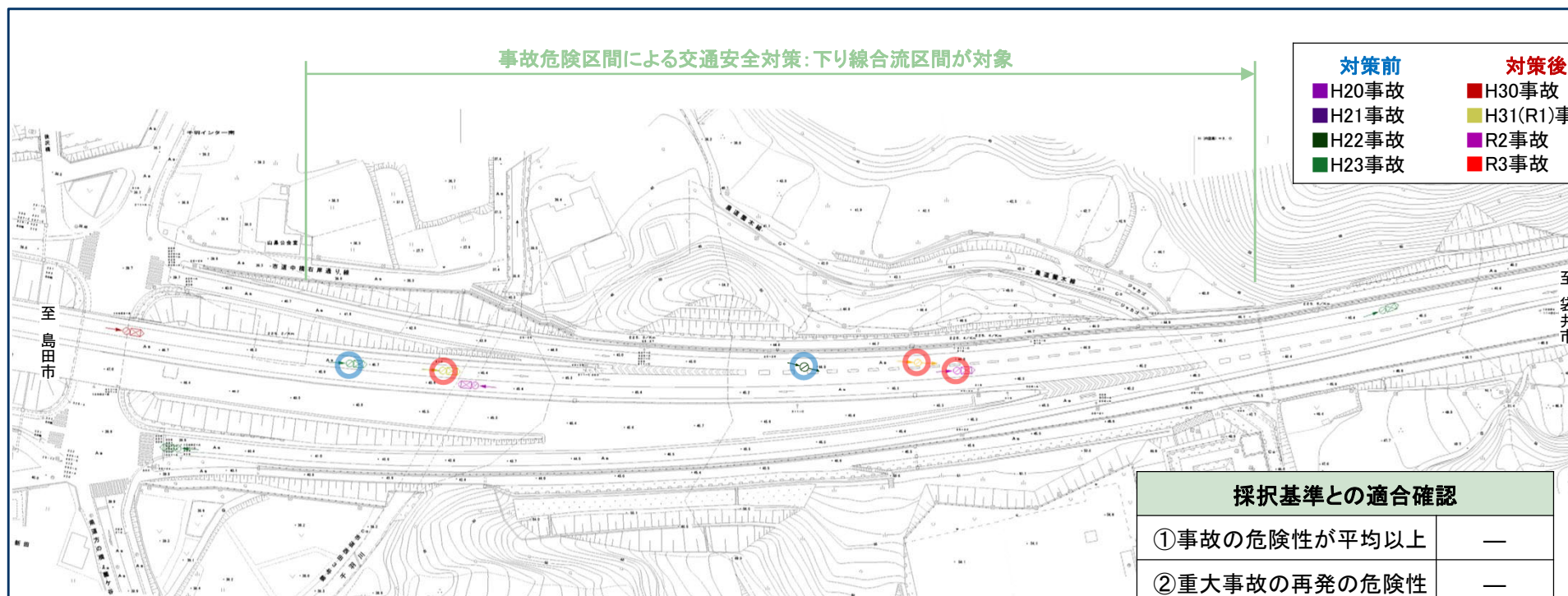


○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成



C 追加対策候補区間（掛川市千羽1325～441）

- ・下り線合流部付近で追突事故が発生（3件/4年）。
- ・1件/1年程度と事故件数も少ないため追加対策の必要性は高くないと考え、経過観察とする。



対策前	対策後
■ H20事故	■ H30事故
■ H21事故	■ H31(R1)事故
■ H22事故	■ R2事故
■ H23事故	■ R3事故

- 対策前(H20-H23)
- 最新 (H30-R3)

採択基準との適合確認

①事故の危険性が平均以上	—
②重大事故の再発の危険性	—
③近年事故が急増	—
④潜在的な危険性	—
⑤構造面での対策必要性	—

【経過観察】

- ・事故件数が少ないため経過観察とする。

C 追加対策候補区間（西区篠原町22208(篠原IC)）

国道1号 西区篠原町22208 (篠原IC) (H26対策)

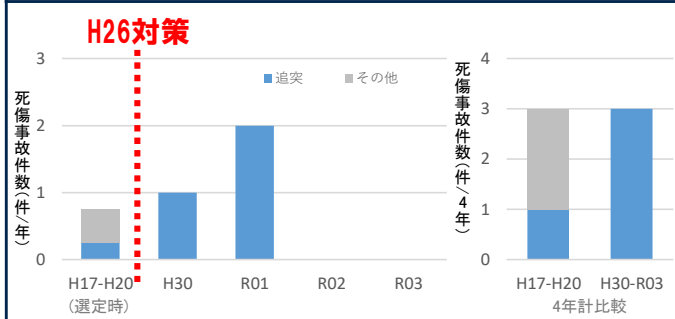
選定理由：地域の声に基づく選定

事故増減
 ①死傷事故件数
 選定時：3件/4年 (H17-H20)
 評価時：3件/4年 (H30-R3) 減少無し ×

①全体判定（事故件数3割抑止）：
 3件/4年→3件/4年（減少なし） ×

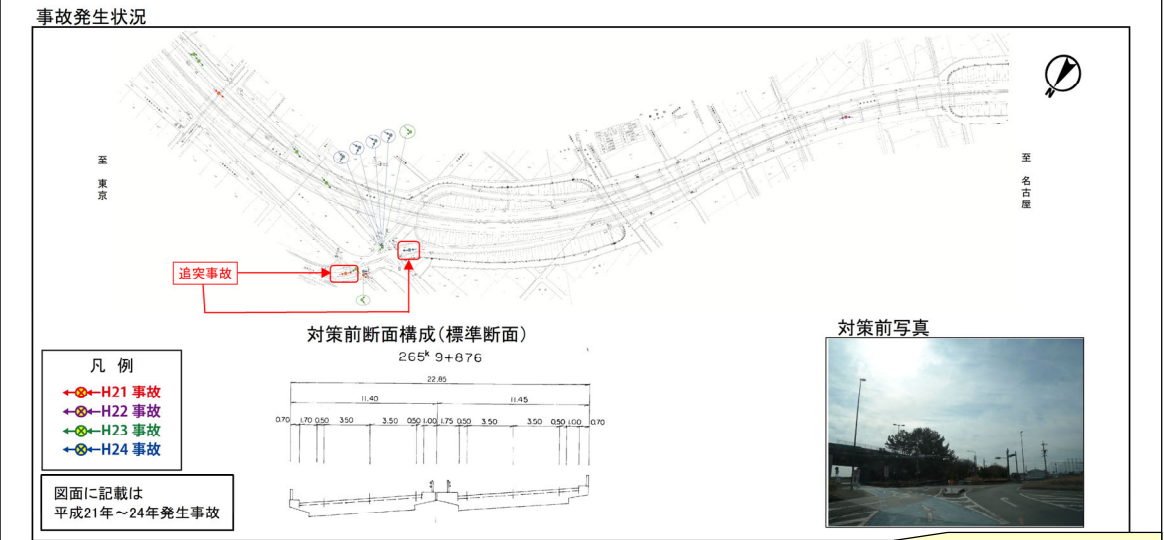
②着目事故判定（事故件数3割抑止）：
 （追突）1件/4年→3件/4年（200%増加） ×

効果判定
 ③潜在的危険度（ETC2.0判定）：
 前後加速度, 左右加速度, ヨー角速度
 3指標とも基準値未満 ○

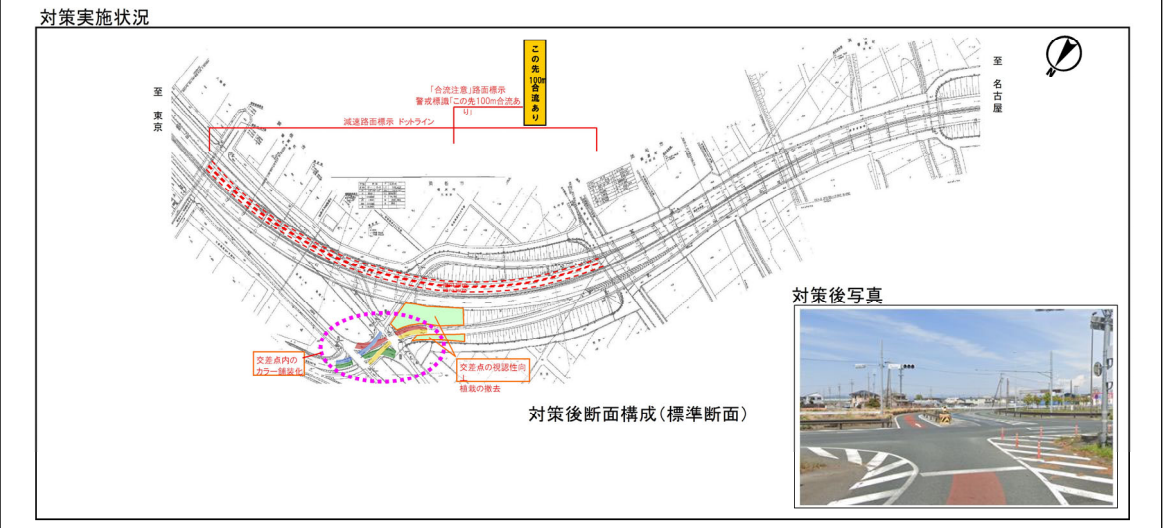


○：効果評価基準達成
 ×：効果評価基準未達成

事前事故発生状況

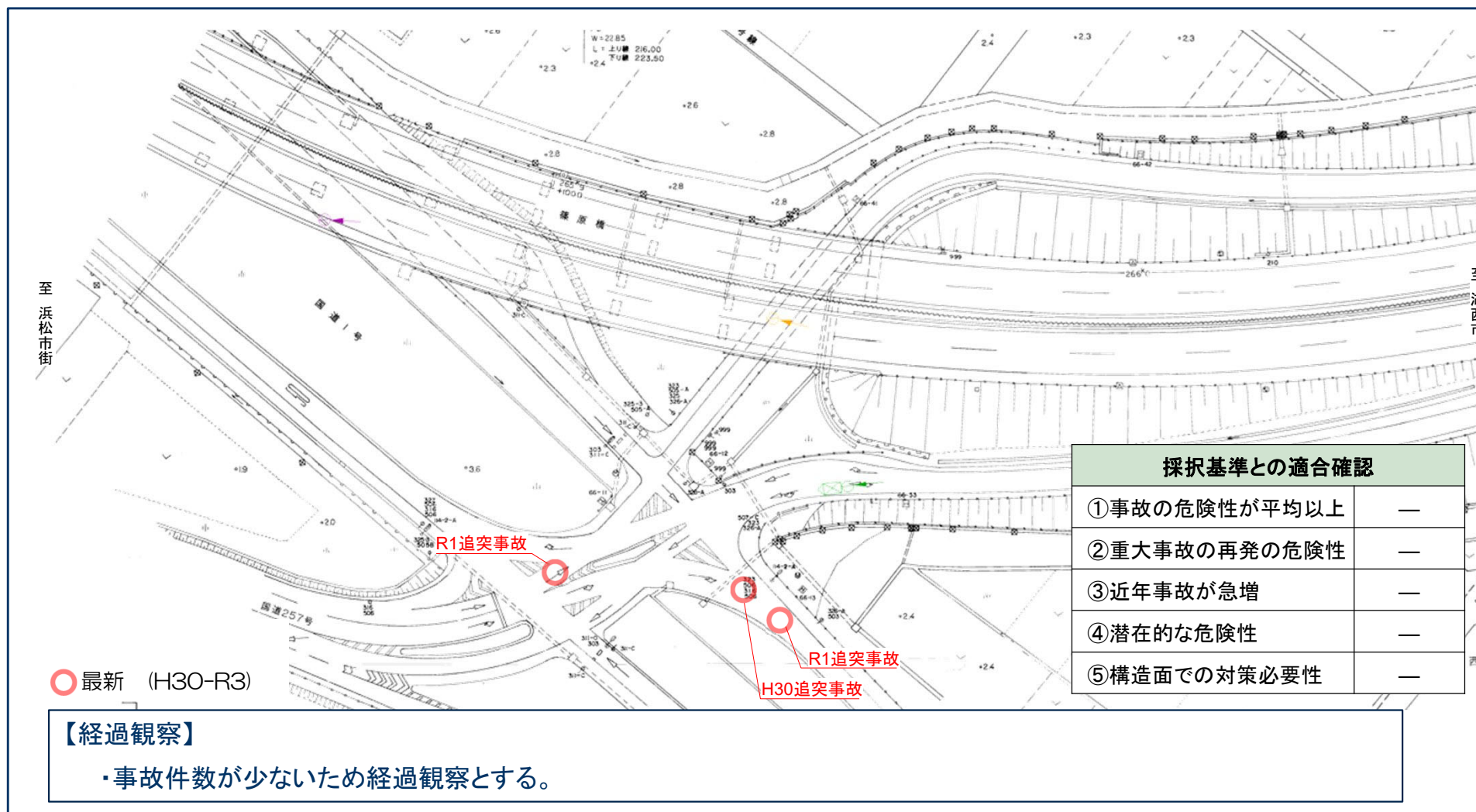


対策実施状況



C 追加対策候補区間（西区篠原町22208(篠原IC)）

・1件/1年程度と事故件数も少ないため追加対策の必要性は高くないと考え、経過観察とする。



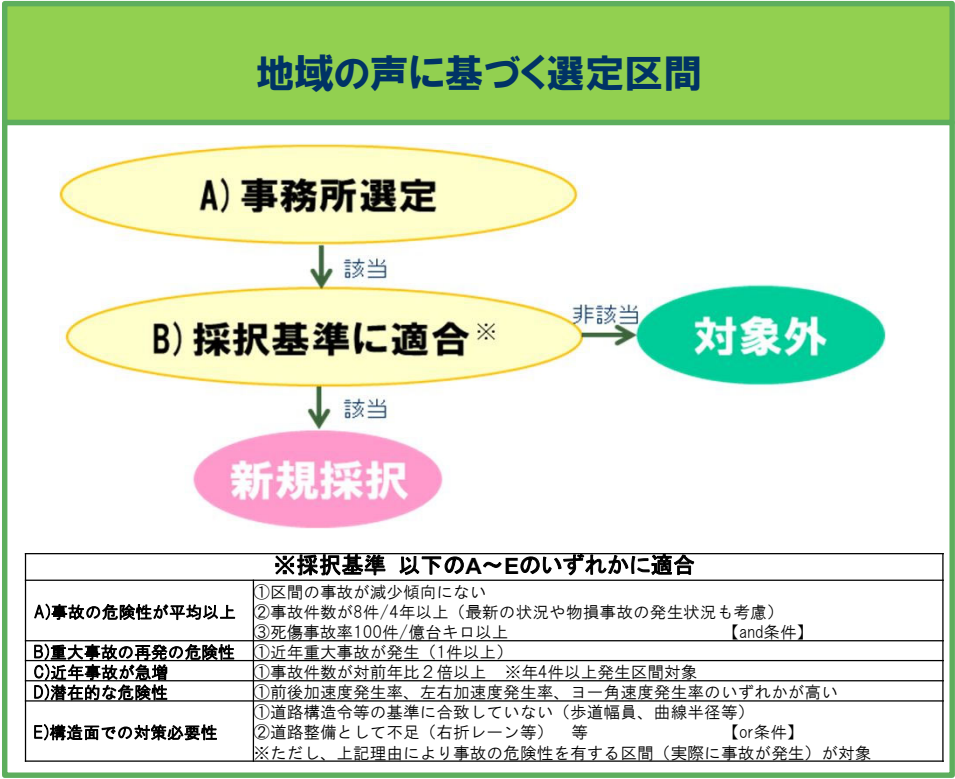
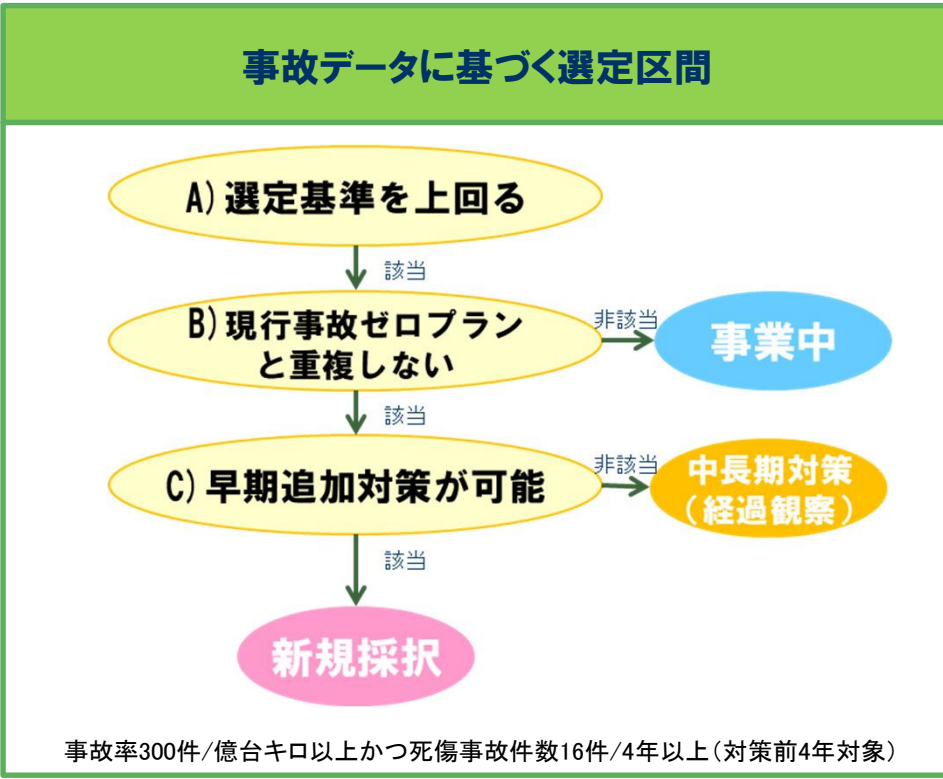
①事故ゼロプラン新規追加区間の一覧

- 「地域の声に基づく選定区間」として1区間を選定。
※今年度は「事故データに基づく選定区間」は選定無し。

事務所名	イタルダ区間番号	交差点 単路別	市町村名	箇所名	路線番号	キロ程		H30-R3 死傷事故件数 (件/4年)	H30-R3 死傷事故率 (件/億台キロ)	事故データに 基づく抽出	地域の声に 基づく抽出	備考
						交差点:中心 単路:起点	単路:終点					
浜松河川 国道事務所	22-T62947-000	単路	島田市	島田金谷BP「小夜の中山トンネル」東側坑口付近	国道1号	218,529	218,619	3	24.45		●	小夜の中山トンネル東側の 対面通行区間が選定範囲 令和4年死亡事故発生箇 所を代表区間として登録

②事故ゼロプラン新規追加区間の採択基準

【事故ゼロプランの新規採択基準】



③新規追加区間 浜松河川国道事務所 国道1号 島田金谷BP 「小夜の中山トンネル」東側坑口付近



イタルダ区間番号:22-T62947-000(代表区間)

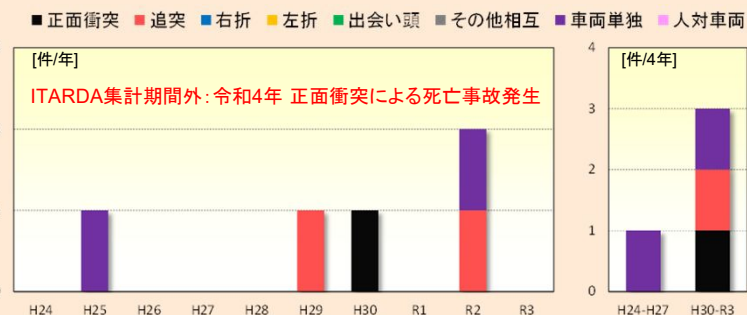
- 当該区間は死傷事故件数3件/4年(H30～R3事故)の、交通事故が発生している。
- 中央分離帯が設けられていない対面通行区間であり平成30年には正面衝突事故が発生、令和4年11月には正面衝突による死亡事故が発生している。
- 対面通行区間は曲線区間であり、見通しが悪く今後も正面衝突による重大事故の発生リスクが高い区間である。
- 令和2年度に実施した利用者意見収集では、見通し不良等により危険を感じたとの意見を収集している。



国道1号 島田金谷BP 「小夜の中山トンネル」東側坑口付近

①選定理由：地域の声に基づく抽出
(採択基準：B) 重大事故再発の危険性)

②事故件数の経年変化



③死傷事故件数：3件/4年

④死傷事故率：24.45件/億台^キ日出典：地理院地図(電子国土Web:国土地理院)(<http://www.gsi.go.jp/>)

※ITARDA事故別(H30～R3)データより死傷事故率は対象区間の最大値を算出

④事故ゼロプラン新規追加区間 位置図

- 事故データに基づく選定区間 0区間
- 地域の声に基づく選定区間 1区間

